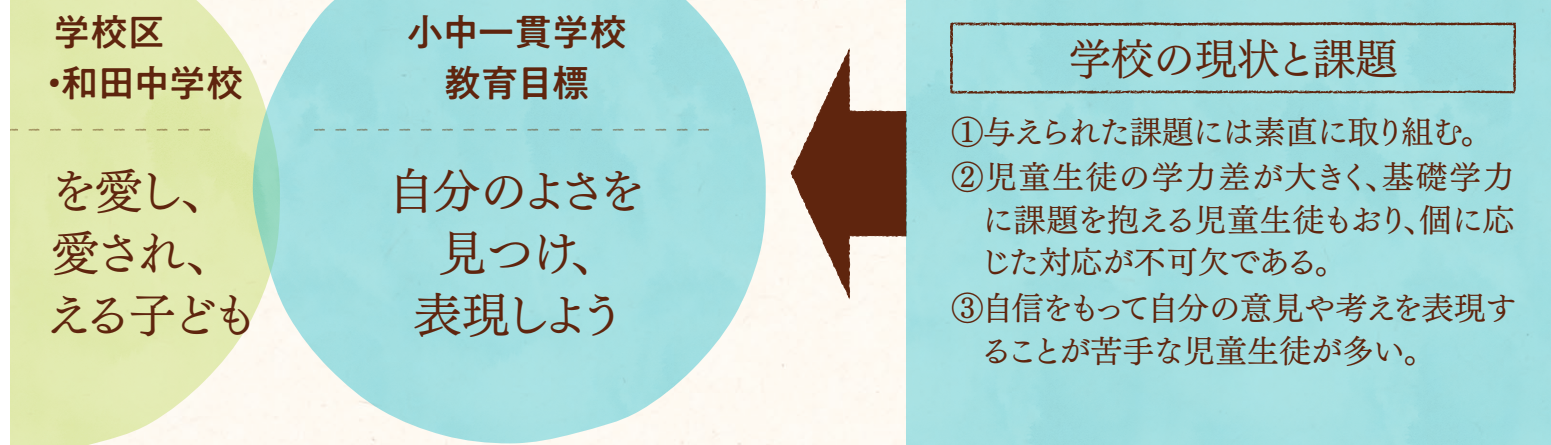
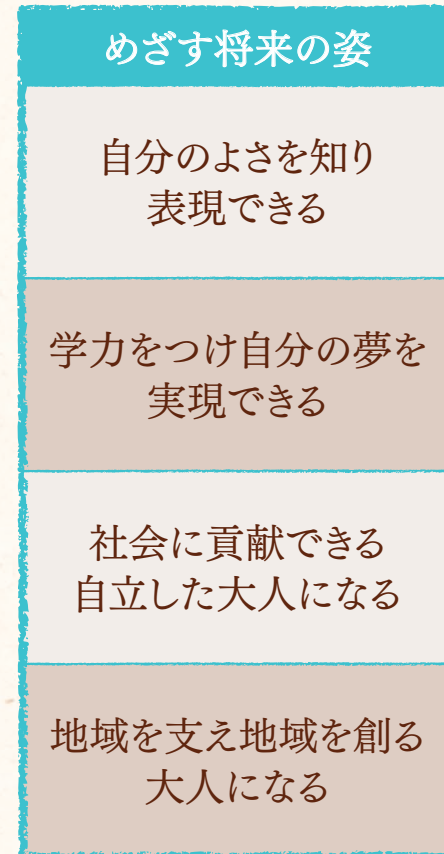


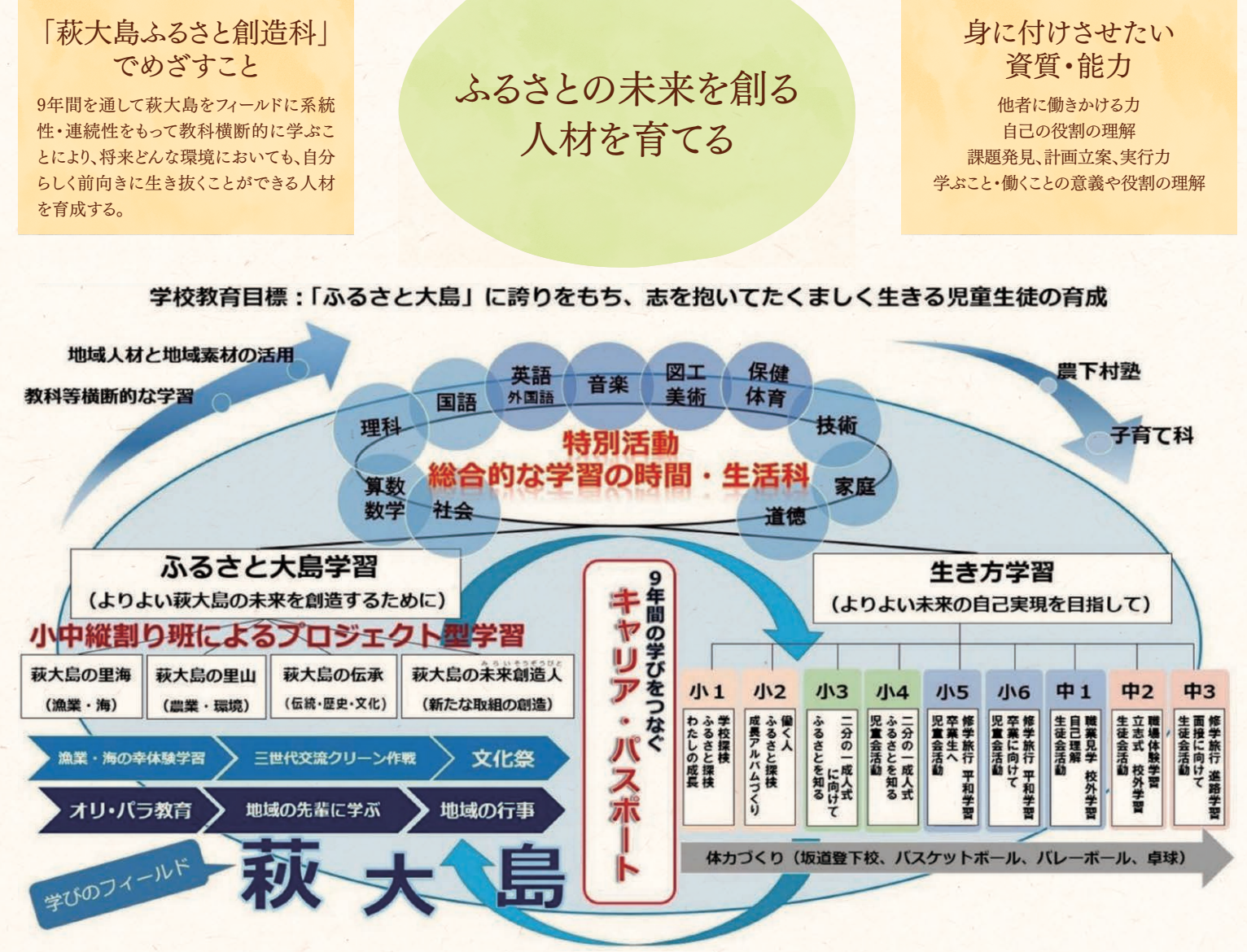
めざす子どもの姿



1年	中学校2年	中学校3年
を自覚し、自思いを伝ええる	自分らしさを発揮しようとし、工夫して自分の考えや思いを伝えることができる	時と場に応じて、自信をもって、自分の考えを発信することができる
・関心を広げ身に付ける	自分の能力や適性を理解し、自分に合った学習方法を確立することができる	自分の目標をもち、夢を実現できる学力を身に付けることができる
あいさつやで、自他の入れること	時と場に応じた振る舞いができ、集団に貢献しようとする態度を身に付けることができる	礼儀正しく振る舞い、他者を思いやることができる
や文化に関城のよさにができる	地域と自分との関わりを知り、地域の未来について考えることができる	地域の良さを実感し、地域を支えようとする意欲をもつことができる



大島小中学校 「萩大島ふるさと創造科」全体構想図 令和2年度



総合「ふるさと大島学習」の取組 大島小中学校
大島小中学校では、「ふるさと大島学習」と称し、「萩大島地域を魅力化する」という視点から小3から中3までの縦割り班(里海班・里山班・伝承班・未来創造人班)で総合的な学習に取り組んでいる。

総合(縦割り班の活動) 大島小中学校
各縦割り班は、魚を増やすための竹漁漁作りや、島民と島外の人たちを結びつける釣り大会、カフェの開催、伝統料理や島の魅力をCMやインターネット等で発信する活動を行っている。

音楽(民謡「ヤレサ」の歌い方や踊り方を学ぶ) 大島小中学校
音楽科では、地域の方から大島の民謡「ヤレサ」の歌い方や踊り方を教わるとともに、新しい歌詞を創作することで、時代に即した伝統継承の在り方について考える機会を設けている。

道徳(地域参加型道徳) 大島小中学校
小学校低学年から中学生まで、地域の方と共に学ぶ「地域道徳」を実践している。児童生徒にとって、多様な意見や価値観に触れることは、自らの視野を広げる機会となっている。

大島小中学校の実践について
大島小中学校では、「萩大島ふるさと創造科」全体構想図(ランドデザイン)をベースに、総合的な学習の時間を軸として、「ふるさと大島学習」や「漁業・海の幸体験学習」など、地域の魅力を存分に活用した学習を充実させています。小中一貫校の特色を生かして、縦割り班のプロジェクト学習を行い、ふるさと大島について多面的なアプローチで学んでいます。各縦割り班は、地域の魅力を発信したカフェの設置や、インスタ映えする大島の風景を紹介したパンフレットの作成、自分たちの活動を紹介するCMの作成など、ユニークな取組を行っています。各学校において定める



ふるさと学習を軸にした学校・地域連携カリキュラムの作成と活用

～伝統や文化に関する教育の充実に向けて～



和田中学校区 小中一貫教育ランドデザイン 令和2年度



なにができるようになるか

	小学校1・2年	小学校3・4年	小学校5・6年	中学校
表現力の育成	最後まできちんと相手の話を聞くことができ、日常の出来事について、楽しんで話すことができる	相づちなど反応を返しながら、相手の話を聞くことができ、自分の気持ちや考えを進んで伝えることができる	自分の考えと比較しながら相手の話を聞くことができ、自分の気持ちや考えを分かりやすく伝えることができる	自分の個性分の考えやることができる
学力の保障	家庭との連携を図り、継続して努力することの大切さに気付くことができる	目標を意識しながら、学習や運動などに取り組むことができる	自分で目標を設定し、学習や運動などに継続して、自主的に取り組むことができる	自分の興味学習習慣をすることができる
キャリア教育	笑顔で元気にあいさつでき、やさしく人に接することができる	大きな声で自分からあいさつでき、自分の良さを知り、自分を大切にできる	あいさつすることの意義を考えて進んであいさつでき、自他の良さを知り、他者を大切にできる	場に応じた言葉遣いが違いを受けがける
地域連携	遊びや生活を通して地域を知り、地域の人々とのふれあいを楽しむことができる	行事やふるさと学習を通して地域を詳しく知り、地域に関心をもつことができる	地域の歴史や文化の学習を通して地域をより詳しく知り、自分も地域の一員であることに気付くことができる	地域の歴史心をもち、地気付くこと



小中連携の取組
 <学校行事の合同開催>
 合同避難訓練/合同引き渡し訓練/合同学校保健安全委員会/人権教育講演会/救命救急講座
 <児童生徒の交流>
 小中合同運動会/三作神楽伝承事業/小中合同文化祭/小中合同駅伝大会/グリーン作戦/オープンスクール/中学生による出前授業
 <教職員交流>
 合同職員会議/合同研修会/乗り入れ授業(保健体育・音楽)/日常の授業参観

和田小・中学校のランドデザインについて
 和田小・中学校では、児童生徒や地域の現状・課題等を踏まえ、「地域を愛し、地域に愛され、地域を支える子ども」をめざす子どもの姿として、「社会に開かれた教育課程」の理念として、「子どもたちが自分のよさを発見し、表現しよう」と設定されています。このめざす子どもの姿や学校教育目標を軸に、4つの重点的な取組(「表現力の育成」「学力の保障」「キャリア教育」「地域連携」)を「和みネット(地域協働ネットワーク協議会)」との連携により実施しています。
 中央教育審議会の「次期学習指導要領に向けたこれまでの審議のまとめ(平成28年)」によると、これからの教育課程には、教育が普遍的にめざす根幹を堅持しつつ、社会の変化を柔軟に受け止めていく「社会に開かれた教育課程」としての役割が強調されています。この「社会に開かれた教育課程」の理念として、「子どもたちが自分のよさを発見し、表現しよう」と設定されています。このめざす子どもの姿や学校教育目標を軸に、4つの重点的な取組(「表現力の育成」「学力の保障」「キャリア教育」「地域連携」)を「和みネット(地域協働ネットワーク協議会)」との連携により実施しています。